

かけはし

令和 8 年度

発行 第12号

令和 8 年 9 月 28 日

厚木市

市民協働推進課



地域学校協働活動

「Let's ラジオ体操」 厚木市立毛利台小学校

「Let'sラジオ体操」は令和4年度から始まった活動で、今年で5年目を迎えました。そもそもは、学校の先生の「こどもたちが2学期の始めはボーっとしている感じで、学習にも気持ちが向かないんです。」という話からスタートしたそうです。そこから夏休みの最後の1週間にラジオ体操をやってみようということになり、公民館の紹介でスポーツ振興会の協力を得ることになりました。また、児童ボランティアを募集して模範体操や受付などの運営に携わるようにしてみたり、地域の方に公民館だよりで参加の案内をしたり、地域の老人ホームや商店会に声をかけたりして、多くの方々の参加を得て実施されています。

今年度初日の8月20日(木)は平日でしたが、朝8時10分の開始に合わせて100人を超える方々が集まって、音楽に合わせてラジオ体操第1と第2を行いました。体操後に、こどもたちにはお菓子が、大人には商店会からのサービス券が配られ、喜ばれていました。今年からは、土日にかき氷を出す計画もあるそうで、年々バージョンアップが図られてきています。

この日は日差しが強く暑かったのですが、大勢で体操をすることで、参加者には気持ちの良い朝になったようでした。



模範体操をするスポーツ振興会会長と児童ボランティア



暑いので日陰に入って

地域学校協働活動

「案山子づくり」ワークショップ 厚木市立三田小学校

例年5年生が総合的な学習の時間にお米づくりの授業を行っています。この授業は児童の「田んぼ運営委員会」が企画や運営にも関わり、地域の皆さんの全面協力のもとで田植えや稲刈り・脱穀等を体験し、給食での実食も行う計画です。その一環として今年度は初めて「案山子づくり」ワークショップが実施されました。

9月18日(金)は朝から5年生児童が10月の稲刈りを前に、成長した稲を保護するための案山子(かかし)を設置しようと睦合北公民館の近くの田んぼにやって来ました。案山子は地域の方が骨組みを作ったあと、児童がグループに分かれて装飾をしたもので、浴衣を着た案山子、ジャージを着た案山子、ワンピースを着た案山子などバラエティーに富んでいました。軽く見える案山子も意外に重量があり、前日までの雨で畝もぬかるんでいましたが、児童が力を合わせて設置場所まで運んで見事設置することができました。

お米作りはとても手がかかります。児童はその一部を体験することで、稲の育て方にとどまらず農家の方の苦労も実感でき、良い学びになったのではないかと思います。



田んぼに臨む5年生児童



設置場所まで案山子を運ぶ

地域学校協働活動は、コミュニティ・スクールとの一体的推進により「学びの場」をより立体的で豊かなものにするだけでなく、地域社会そのものを次世代に向けて持続可能な形で育てていくという、大きな役割を担う可能性を秘めています。



地区研修会の様子

令和8年度からは、前年度までに地域学校協働活動推進員が市内全市立小中学校に配置されたことを受けて、地域学校協働活動推進員連絡会が年間2回の開催となり、代わって地区研修会等を公民館主催で開催することになりました。地域の実情に合わせた研修会が続々と開催されておりますので、その報告をしたいと思います。

森の里、玉川、南毛利地区

森の里公民館では、学校で活動されている方々等を対象に、「コミュニティ・スクールにおける地域コーディネーター養成講座」を実施して来ましたが、7年目を迎えた今年はこの講座の主催を森の里公民館・玉川公民館・南毛利公民館三地区の地域学校協働本部として、地区研修会と兼ねる形を取りました。

研修会は7月から8月にかけて3回シリーズで、森の里公民館で実施されました。参加者は原則3回とも出席できる方40名程度です。各回の内容は、第1回は森の里小学校学校運営協議会会長と森の里自治連会長で地域学校協働活動スペシャリストの方の講義とワークショップ、第2回は他県より学校運営協議会と地域学校協働活動に精通した社会教育士を講師に招いての講演とワークショップ、第3回は厚木市内の地域学校協働活動推進員や教職員によるトークショーやミニ発表会とワークショップで、参加者からは何かを得て帰ろうという姿勢が感じられました。



緑ヶ丘、睦合西地区

緑ヶ丘公民館と睦合西公民館は共に林中学校区に位置する公民館で、一つの中学校の学区に1つの小学校と2つの公民館がある地区になります。地域学校協働活動推進員の配置の時期が緑ヶ丘小学校は令和6年、林中学校が令和7年と1年ずれていたことで、地域学校協働活動の進捗状況が少し違っていました。しかし今年からは、これまで以上にいろいろな活動を合同でやっていこうということで、地区研修会も合同で実施されることになりました。

地区研修会は9月15日(火)に林中学校を会場に、学校職員、公民館職員、学校運営協議会委員、地域団体の代表者など約35名が参加して実施されました。内容は厚木市の社会教育指導員の講義に続いて小・中各学校の地域学校協働活動推進員の事例発表、さらにグループワークと盛りだくさんでした。特にグループワークでは、活発な情報交換・意見交換がなされ、今後の地域学校協働活動のヒントになるような話ができたようです。また、このグループワークの内容を9月下旬にある林中学校の学校運営協議会に活かしたいというお話もされていました。

